

JAMA・JAPIA

**EDIFACT
PROTAP 導入ガイドライン
V2.01
JAMAEIE102**

2010年04月01日

JAMA

Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.

一般社団法人 日本自動車工業会
電子情報委員会 ビジネス システム部会

JAPIA

Japan Auto Parts Industries Association

社団法人 日本自動車部品工業会
電子情報化委員会 EDI 部会

このガイドラインは、一般社団法人 日本自動車工業会（JAMA）・電子情報委員会ビジネス システム部会において、社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）・電子情報化委員会 EDI 部会と協同して、日本自動車産業界における部品発注業務の EDI 標準化を目的に、UN/CEFACT が定めた EDI 世界標準である UN/EDIFACT の ‘PROTAP’ を利用した「カレンダー」情報の標準を定めたものである。

当バージョンは、前バージョンのガイドライン発行後 5 年が経過したため、以下の点を考慮して改訂したものである。

1. UN/EDIFACT の最新国連バージョン D.07A の採用
2. 3 極（AIAG、ODETTE、JAMA・JAPIA）での合意事項の反映
3. 国内使用実績に即した内容の見直し

なお、本書を利用する場合には、「JAMA・JAPIA 取引情報標準書（本編、別冊）」を参照されることを推奨する。また、本書を利用して各社におけるメッセージ仕様書を作成する場合には、「JAMA・JAPIA EDIFACT 仕様書作成ガイドライン」を参照されたい。

目次

前書き	.. 1
1. はじめに	.. 3
2. PROTAP メッセージの概要	.. 4
2.1 PROTAP でカバーされるビジネス機能	.. 4
2.2 カレンダー情報に必要な項目	.. 4
2.3 カレンダーの対象と設定位置	.. 4
3. メッセージ記述	.. 5
3.1 セグメント表	.. 5
3.1.1 セグメント表の見方	.. 5
3.1.2 リリース D.07A に対する変更点	.. 5
3.1.3 カレンダー用 PROTAP セグメント表	.. 6
3.1.4 カレンダー情報の対象別使用セグメント	.. 8
3.2 JAMA・JAPIA セグメント概説	.. 9
3.3 JAMA・JAPIA メッセージ情報	..11
3.4 セグメント詳細記述	..15
3.4.1 セグメント詳細記述の見方	..15
3.4.2 セグメント・グループ記述の見方	..15
3.4.3 データ値タイプ	..16
3.4.4 文字セット	..16
3.4.5 日本語（2バイト文字）表記	..16
3.4.6 セグメント内でのデータの分離	..16
3.4.7 PROTAP セグメント詳細記述使用例	..17
3.4.8 PROTAP セグメント詳細記述	..18
4. 記述例	..40
5. 交換用サービス・セグメント	..41
5.1 サービス・セグメント概要	..42
5.2 サービス・ストリング・アドバイス概要	..42

1. はじめに

UN/EDIFACTとは、United Nations / Electronic Data Interchange For Administration, Commerce and Transportの略であり、全世界規模で一貫性のあるEDI標準を提供するため、国連で策定されたものである。

従って、UN/EDIFACTは、単一の世界標準として、自動車業界のみならず、すべての業界で利用できるように作られている。

このガイドラインにおいて「EDIFACT」という言葉は、自動車業界で利用し易いように、必要な部分をUN/EDIFACTから取り出し策定した業界標準メッセージを意味することにする。

ユーザーがEDIFACTを導入するためには、文法、構造、規約を理解する必要がある。このガイドラインは、その理解を支援するためのものであり、つぎの狙いがある。

- ・利用者の固有フォーマットからEDIFACTフォーマットへの移行を容易にする。
- ・今後のEDI導入において、EDIFACTを利用したJAMA・JAPIA標準の利用を促進する。

EDIFACTを使用する利点は、

- ・全世界とデータ交換ができる。
- ・全業種とデータ交換ができる。
- ・業界内の全企業とデータ交換ができる。
- ・企業内のデータ交換にも利用できる。
- ・新規取引先とのデータ交換が容易に実現できる。

これらの利点は、取引企業双方が、このガイドラインのような業界規約を利用する場合に意味がある。特に、ある企業が複数の企業と取引を行う場合に、この標準規約を基準としたEDIフォーマットを企業間で合意することが重要である。

EDIFACTは企業が独自で定めているメッセージについても、記述できるような柔軟性はあるが、標準化の観点では独自項目の見直しが前提となる。

本書は、PROTAPメッセージによるカレンダー情報の伝送について記述する。

PROTAPメッセージを交換するかどうか、どんな場合に交換するか、については、交換する2社間において、事前に合意がなされていることが前提である。

PROTAPを交換する前に、データ交換する2社間において、適用する国際規約・標準および社内システムの能力・制約について合意しておく必要がある。

本書は、メッセージ交換に必要な2社間合意において、使用する条件を取り決める際の標準項目をガイドするものである。最終的な決定は、利用する2社の責任である。

2. PROTAP メッセージの概要

2.1 PROTAP でカバーされるビジネス機能

PROTAP メッセージとは、The Project tasks planning message であり、3つの主要なグループから成る。

- 1) リソースの活用可能状況
- 2) カレンダー情報
- 3) リソースやカレンダー、目標、制約条件などを伴った活動や仕事

ここでは、カレンダー情報の伝送のみに限定して、PROTAP メッセージを使用する。

カレンダー情報は、主として発注者が受注者に対し、発注者および納入先の稼働スケジュールを示すための情報である。受注者はこの情報により、部品の製造、出荷のスケジュールを検討することができる。

2.2 カレンダー情報に必要な項目

カレンダー情報には、発注者、納入先、納入場所における稼働日数とカレンダー（稼働日、非稼働日、労働シフト）、カレンダーを特定するカレンダーID などがある。

- (1) ヘッダー部：必須
 - 情報種、リリース番号、ガイドライン番号
 - 処理日、カレンダー対象月／対象期間
- (2) カレンダー部：任意または選択
 - 発注者、納入先（+事業所）、対象部署
 - 稼働日数、カレンダー
 - 参照カレンダーID
 - 担当者と連絡方法

2.3 カレンダーの対象と設定位置

カレンダーの対象により、以下のような使い分けを行う。

- (1) 発注者、納入先（+事業所）単位でのカレンダー設定
 - ・発注者、納入先（+事業所）：セグメント・グループ 16
 - ・カレンダー情報：セグメント・グループ 18
- (2) 納入場所（部署）単位でのカレンダー設定
 - ・発注者、納入先（+事業所）：セグメント・グループ 16
 - ・納入場所（部署）：セグメント・グループ 21
 - ・カレンダー情報：セグメント・グループ 21

3. メッセージ記述

3.1 セグメント表

セグメントとは、タグと呼ばれるセグメントを識別するための3文字の英大文字で始まり、セグメント終了識別子(デフォルトはアポストロフィ)で終了する、一連のメッセージを言う。

セグメント・グループとは、機能的に関連のあるセグメントおよび付加的なセグメント・グループから構成されるメッセージ群を言う。

セグメント表とは、EDIFACT メッセージのセグメント構造を記述した表である。セグメントおよびセグメント・グループを、メッセージのポジション番号順に記述し、情報種単位の構造を示す。

3.1.1 セグメント表の見方

セグメント表において、セグメントはメッセージのポジション番号順に記述している。

セグメント・グループの繰り返しは、上位の(外部)セグメント・グループに含まれることがある。内部グループは、外部グループの終了する前か同時に終了する。内部グループで与えられる情報は、外部グループと密接な関連を持つ。

外部グループの使用は、そこに含まれるセグメントまたは内部グループがすべて使われない時「使用しない」ことになる。1つでも「必須」があれば、必須となる。

セグメント表の左欄(Usage)には、JAMA・JAPIA としての使用要件が記述されている。

- ・M :JAMA・JAPIA 必須項目で国連で M (Mandatory) としているもの。
- ・R :JAMA・JAPIA として必須項目とする。
- ・O :JAMA・JAPIA として任意項目とする。
- ・X :JAMA・JAPIA として使用することを推奨しない。

3.1.2 リリース D.07A に対する変更点

当ガイドラインの EDIFACT メッセージの構造や使用するエレメントのコードは UN/EDIFACT のリリース D.07A を基本としている。

当ガイドラインでは、リリース D.07A にこれらの追加・変更を織り込んだものを標準メッセージとして記述している。

(1) コード追加

(表 3.1-1)

セグメント	D-elm	C-elm	内容	コード*	コード説明
DTM	C507	2379	記号列	ZZZ	Mutually defined

(2) 追加・変更項目

(表 3.1-2)

Pos.	Seg	分類	内容
0030	GEI	属性変更	M → C
1020	UNT	桁数変更	e0074 の最大桁数 n..6 → n..10

3.1.3 カレンダー用 PROTAP セグメント表

(表 3.1-3)

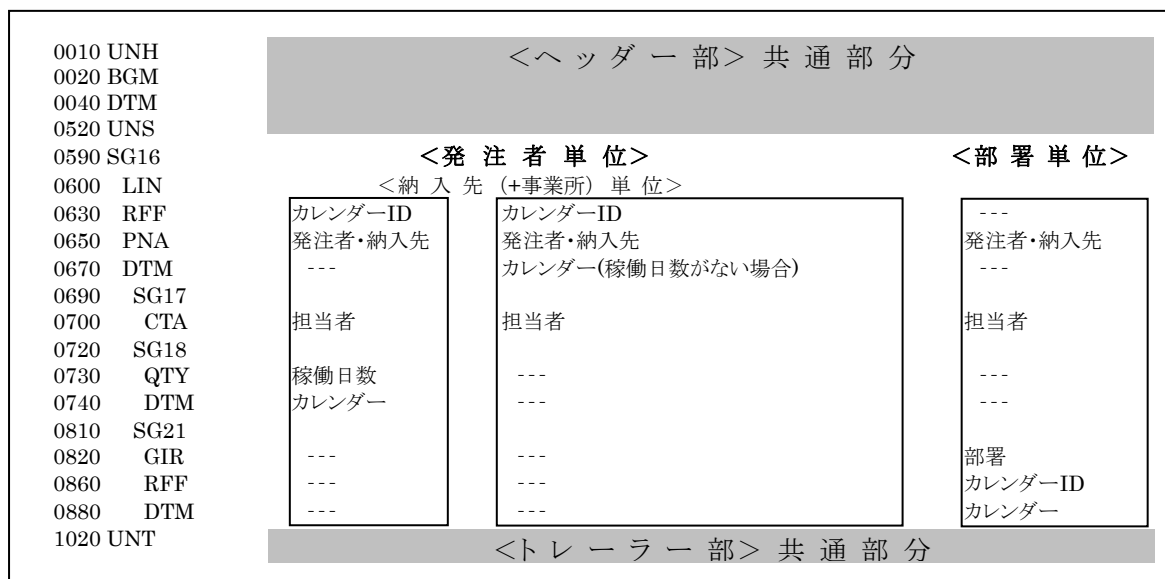
JAMA Usage	Pos. No.	Seg. Tag	Name	UN Usage	Repeat
M	0010	UNH	Message header	M	1
M	0020	BGM	Beginning of message	M	1
X	0030	GEI	Processing information	C	1
M	0040	DTM	Date/time/period	M	99
X	0050	SG1	Segment group 1	C	99
X	0060	RFF	Reference	M	1
X	0070	IMD	Item description	C	9
X	0080	BII	Structure identification	C	99
X	0090	SG2	Segment group 2	C	99
X	0100	GIR	Related identification numbers	M	1
X	0110	REL	Relationship	C	1
X	0120	SG3	Segment group 3	C	99
X	0130	PNA	Party identification	M	1
X	0140	ADR	Address	C	1
X	0150	BII	Structure identification	C	1
X	0160	SG4	Segment group 4	C	9
X	0170	CTA	Contact information	M	1
X	0180	COM	Communication contact	C	9
X	0190	SG5	Segment group 5	C	9
X	0200	CED	Computer environment details	M	1
X	0210	DTM	Date/time/period	C	9
X	0220	SG6	Segment group 6	C	99
X	0230	EFI	External file link identification	M	1
X	0240	CED	Computer environment details	C	1
X	0250	DTM	Date/time/period	C	1
X	0260	SG7	Segment group 7	C	999
X	0270	IND	Index details	M	1
X	0280	BII	Structure identification	C	1
X	0290	IMD	Item description	C	1
X	0300	RCS	Requirements and conditions	C	1
X	0310	SG8	Segment group 8	C	9999
X	0320	LIN	Line item	M	1
X	0330	BII	Structure identification	C	9
X	0340	RFF	Reference	C	9
X	0350	IMD	Item description	C	9
X	0360	DTM	Date/time/period	C	99
X	0370	SG9	Segment group 9	C	99
X	0380	QTY	Quantity	M	1

X	0390	DTM	Date/time/period	C	99		
X	0400	SG10	Segment group 10	C	99		
X	0410	PRI	Price details	M	1		
X	0420	DTM	Date/time/period	C	99		
X	0430	SG11	Segment group 11	C	99		
X	0440	PCD	Percentage details	M	1		
X	0450	DTM	Date/time/period	C	99		
X	0460	SG12	Segment group 12	C	99		
X	0470	RTE	Rate details	M	1		
X	0480	DTM	Date/time/period	C	99		
X	0490	SG13	Segment group 13	C	99		
X	0500	MOA	Monetary amount	M	1		
X	0510	DTM	Date/time/period	C	99		
M	0520	UNS	Section control	M	1		
O	0530	SG14	Segment group 14	C	99		
M	0540	RFF	Reference	M	1		
X	0550	SG15	Segment group 15	C	999		
X	0560	SCC	Scheduling conditions	M	1		
X	0570	QTY	Quantity	C	99		
X	0580	DTM	Date/time/period	C	999		
R	0590	SG16	Segment group 16	C	9999		
M	0600	LIN	Line item	M	1		
X	0610	STS	Status	C	1		
X	0620	BII	Structure identification	C	9		
O	0630	RFF	Reference	C	9		
X	0640	IMD	Item description	C	9		
R	0650	PNA	Party identification	C	9		
X	0660	CCI	Characteristic/class id	C	9		
O	0670	DTM	Date/time/period	C	99		
X	0680	FTX	Free text	C	99		
O	0690	SG17	Segment group 17	C	9		
M	0700	CTA	Contact information	M	1		
X	0710	COM	Communication contact	C	9		
O	0720	SG18	Segment group 18	C	99		
M	0730	QTY	Quantity	M	1		
O	0740	DTM	Date/time/period	C	99		
X	0750	SG19	Segment group 19	C	99		
X	0760	PCD	Percentage details	M	1		
X	0770	DTM	Date/time/period	C	99		

X	0780	SG20	Segment group 20	C	99
X	0790	MOA	Monetary amount	M	1
X	0800	DTM	Date/time/period	C	99
O	0810	SG21	Segment group 21	C	9999
M	0820	GIR	Related identification numbers	M	1
X	0830	REL	Relationship	C	1
X	0840	RCS	Requirements and conditions	C	1
X	0850	BII	Structure identification	C	9
O	0860	RFF	Reference	C	9
X	0870	IMD	Item description	C	9
O	0880	DTM	Date/time/period	C	99
X	0890	SG22	Segment group 22	C	99
X	0900	QTY	Quantity	M	1
X	0910	DTM	Date/time/period	C	99
X	0920	SG23	Segment group 23	C	99
X	0930	PCD	Percentage details	M	1
X	0940	DTM	Date/time/period	C	99
X	0950	SG24	Segment group 24	C	99
X	0960	MOA	Monetary amount	M	1
X	0970	DTM	Date/time/period	C	99
X	0980	SG25	Segment group 25	C	99
X	0990	RTE	Rate details	M	1
X	1000	DTM	Date/time/period	C	99
X	1010	CNT	Control total	C	99
M	1020	UNT	Message trailer	M	1

3.1.4 カレンダー情報の対象別使用セグメント

(図 3.1-4)



3.2 JAMA・JAPIA セグメント概説

UNB メッセージ交換ヘッダー (Interchange Header) 5章参照

複数のメッセージ (UNH-UNT) をまとめてユニークに識別し、送信するためのサービス・セグメント。

UNH メッセージヘッダー (Message Header)

メッセージの開始と、メッセージをユニークに識別するためのサービス・セグメント。
「カレンダー情報」を送信するためのメッセージ分類コードは‘PROTAP’である。

BGM メッセージの開始 (Beginning of Message)

メッセージに関わるドキュメント名称やドキュメント番号を示すためのセグメント

DTM 日付/時間/期間 (Date/Time/Period)

発行日やカレンダー対象期日・対象期間を設定する。

UNS セクションコントロール (Section control)

メッセージを成立させるために必須のサービス・セグメント。

SG14 セグメント・グループ-14:RFF-SG15

受信確認用件数を設定するセグメント・グループ

RFF 参照情報 (Reference)

受信確認用件数を設定するセグメント

SG16 セグメント・グループ-16:LIN-STS-BII-RFF-IMD-PNA-CCI-DTM-FTX- SG17-SG18-SG19-SG20-SG21

カレンダーを設定するためのセグメント・グループ

LIN 明細項目 (Line item)

明細部の始まりを示すトリガー・セグメント。

RFF 参照情報 (Reference)

カレンダーに関連する参考情報を設定するセグメント。

PNA パーティ識別 (Party identification)

カレンダーの対象となる発注者、納入先(+事業所)の企業情報を設定するセグメント。

DTM 日付・時間・期間 (Date/time/period)

カレンダー対象期間を設定する。また、稼動日数を伝送しない場合は、ここでカレンダーを設定する。

SG17 セグメント・グループ-17:CTA-COM

担当者、部門を設定するセグメント・グループ。

CTA コンタクト先情報 (Contact Information)

連絡先としての担当を設定するセグメント。

SG18 セグメント・グループ-18:QTY-DTM

カレンダーを設定するセグメント・グループ。

QTY 数量 (Quantity)

稼動日数を設定するセグメント。

DTM 日付・時間・期間 (Date/time/period)

カレンダーを設定するセグメント。

**SG21 セグメント・グループ-21:GIR-REL-RCS-BII-RFF-IMD-DTM-SG22-SG23-
SG24-SG25**

部署ごとにカレンダーを設定するためのセグメント・グループ

GIR 関連番号 (Related identification numbers)

部署を設定するセグメント。

RFF 参照情報 (Reference)

カレンダーに関連する参考情報を設定するセグメント。

DTM 日付・時間・期間 (Date/time/period)

カレンダーを設定するセグメント。

UNT メッセージ・トレーラー (Message Trailer)

メッセージの終わりを示すサービス・セグメント。メッセージ内の合計セグメント数およびコントロール用の参照番号を示す。

UNZ メッセージ交換トレーラー (Interchange Trailer) 5章参照

UNB に対応し、メッセージ交換の終了を表わすサービス・セグメント。

3.3 JAMA・JAPIA メッセージ情報

<ヘッダー部>

0010 UNH EDIFACT 上のメッセージタイプを識別するサービス・セグメント。

e0062: 当メッセージを特定する為に、送信者がユニークに設定するメッセージ参照番号。
 当セグメントはサービス・セグメントであり、EDIFACT 上のメッセージタイプの識別を示す。
 この番号は UNT e0062 と等しくなければならない。

S009 のデータ・エレメントは以下の値をとることとする。

e0065: 'PROTAP'
 e0052: 'D'
 e0054: '07A'
 e0051: 'UN'
 e0057: 'GD0000'

0020 BGM カレンダー情報であることを特定する。

C002.e1001 : '257' (Project Planning Calendar)
 C106.e1004: JAMAEIE102-(固定: 本ガイドラインの NO) + 各社メッセージ仕様書名
 e1056: 各社メッセージ仕様書のバージョン番号
 e1060: 各社メッセージ仕様書のリビジョン番号
 e1225: 変更情報提供識別を設定する。
 '9' (Original)

0040 DTM 発行日やカレンダー対象期日 (対象期間) 等を設定する。

C507.e2005:

Code value	Code name	Common usage
137	Document/message date/time	発行日/時刻
157	Validity start date	対象基準日 終了日の指定無し
158	Horizon start date	カレンダー対象範囲開始日 159 とペアで使用
159	Horizon end date	カレンダー対象範囲終了日 158 とペアで使用
257	Calculation date	処理日/時刻
540	Instruction's original execution date	オリジナルデータ作成日/時刻

e2380: 上記に対応する具体的な日付

e2379:

Code value	Code name	Description	Common usage
6	CCYYMMB	Half monthly	年月前半/後半
7	CCYYMMW	Week within a calendar month	年月週
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
203	CCYYMMDDHHMM	Calendar date including time with minutes	年月日時分
204	CCYYMMDDHHMMSS	Calendar date including time with seconds: C=Century; Y=Year; M=Month; D=Day; H=Hour; M=Minute; S=Second.	年月日時分秒
610	CCYYMM	Month within a calendar year	年月
614	CCYYMMA	Format of ten days period	年月旬
616	CCYYWW	Week within a calendar year	年週(1月1週:ww=01)

<明細部>

0520 UNS メッセージを成立させるために必須のサービス・セグメント。

e0081: 'D' (Header/Detail section separation) (固定)

0530 SG14 受信確認用件数を設定するセグメント・グループ

0540 RFF 受信確認用件数を設定するセグメント

C506.e1153: 'ZZZ' (Mutually defined reference number)

e1154: 受信確認用件数

e1156: 'H07' (JAMA コード) 受信確認用件数

e1056: '92' (Assigned by buyer or buyer's agent)

0590 SG16 カレンダーを設定するためのセグメント・グループ

0600 LIN 明細部の始まりを示すトリガー・セグメント。

e1082: 連番(1~9999)を設定する。

0630 RFF カレンダーに関連する参考情報を設定する。

C506.e1153: 'AOJ' (Calendar)

e1154: カレンダーID

0650 PNA カレンダーの対象となる発注者、納入先(+事業所)の企業情報を設定する。

e3035:

Code value	Code name	Common usage
BY	Buyer	発注者
ST	Ship To	納入先

C206.e7402: 企業名(+事業所名)

C082.e3039: 会社企業コード(+事業所コード)

e3055: '92' (Assigned by buyer or buyer's agent)

'289' (JIPDEC/ECPC CII 標準企業コード) (JAMA・JAPIA 推奨)

0670 DTM カレンダー対象期間を設定する。Pos.0040DTM での対象期間と同じ場合は省略される。
稼働日数を伝送しない場合は、ここでカレンダーを設定する。

C507.e2005:

Code value	Code name	Common usage
157	Validity start date	対象基準日 終了日の指定無し
158	Horizon start date	カレンダー対象範囲開始日 159 とペアで使用
159	Horizon end date	カレンダー対象範囲終了日 158 とペアで使用
314	Planned duration of works	稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号
490	Selection period, start date	稼働開始日 期間の最初の日を示す

e2380: 上記に対応する具体的な日付、日数、記号など

e2379:

Code value	Code name	Description	Common usage
6	CCYYMMB	Half month	年月前半/後半
7	CCYYMMW	Week within a calendar month	年月週
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
610	CCYYMM	Month within a calendar year	年月
614	CCYYMMA	Format of ten days period	年月旬
616	CCYYWW	Week within a calendar year	年週
ZZZ	Mutually defined	(JAMA 独自コード)	31 桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定)

0690 SG17 担当者、部門を設定するセグメント・グループ。

0700 CTA 担当を設定する。

e3139:

Code value	Code name	Common usage
DL	Delivery contact	手配担当
IC	Information contact	情報システム担当
SC	Schedule contact	進捗担当

C056.e3413 : 部署または担当者のコード

e3412 : 部署名または担当者名

0720 SG18 カレンダーを設定するセグメント・グループ

0730 QTY 稼働日数を設定する。

C186.e6063 : '77' (Work days)

e6060 : 稼働日数

0740 DTM カレンダーを設定する。

C507.e2005:

Code value	Code name	Common usage
314	Planned duration of works	稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号
490	Selection period, start date	稼働開始日 期間の最初の日を示す

e2380: 上記に対応する具体的な日付、記号など

e2379:

Code of e2379	Code name	Description	Common usage
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
ZZZ	Mutually defined	(JAMA 独自コード)	31桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定)

0810 SG21 部署ごとにカレンダーを設定するためのセグメント・グループ

0820 GIR 部署を設定する。

e7297: '13' (Work schedule)

C206.e7402: 部署コード

部署名

0860 RFF カレンダーに関連する参考情報を設定する。

C506.e1153: 'AOJ' (Calendar)

e1154: カレンダーID

0880 DTM カレンダーを設定する。

C507.e2005:

Code value	Code name	Common usage
314	Planned duration of works	稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号
345	Days of operation	稼働日数 期間中の実稼働日数を示す
490	Selection period, start date	稼働開始日 期間の最初の日を示す

e2380: 上記に対応する具体的な日付、日数、記号など

e2379:

Code value	Code name	Description	Common usage
102	CCYYMMDD	Calendar date	年月日
814	Working days	Number of working days	稼働日数
ZZZ	Mutually defined	(JAMA 独自コード)	31桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定)

1020 UNT メッセージ・トレーラー

e0074: UNH-UNT 間のセグメント数 (UNH, UNT も含む)

e0062: UNH での e0062 と同じもの

3.4 セグメント詳細記述

セグメント詳細記述では、セグメント記述およびセグメント・グループ記述が、出現順（ポジション番号順）に記述される。

3.4.1 セグメント詳細記述の見方

Segment : セグメント・タグ。3文字の英大文字。

Position : セグメントの出現順番号。0010 より 10 番ごとに打たれる。

Group : 所属するセグメント・グループ。

Level : セグメント・グループの階層度。

Usage : 必須(Mandatory)か任意(Conditional)かを示す。

Purpose : セグメントの使用目的。

Comments : コメント。

Examples : 使用例を記述

<Data Elements 内の項目>

Usage : 国連で M (必須) としているものは JAMA・JAPIA として M (必須項目) とする。
国連で C (任意) としているものについて、JAMA・JAPIA としての取り扱いを以下のように定める。

R : JAMA・JAPIA として必須項目とする。

O : JAMA・JAPIA として任意項目とする。

X : JAMA・JAPIA として使用することを推奨しない。

D-Elm : データエレメント

C-Elm : 構成エレメント

Name : データエレメント、構成エレメントの名称

Attribute : 国連で定めた必須 (M) / 任意 (C) と最大桁数

3.4.2 セグメント・グループ記述の見方

Segment : セグメント・グループ名。

Position : セグメントの出現順番号。0010 より 10 番ごとに打たれる。

Usage : 必須(Mandatory)か任意(Conditional)かを示す。

Purpose : セグメント・グループの使用目的。

Comments : コメント。

<Segments and Segment groups 内の項目>

Usage : 国連で M (必須) としているものは JAMA・JAPIA として M (必須項目) とする。
国連で C (任意) としているものについて、JAMA・JAPIA としての取り扱いを以下のように定める。

R : JAMA・JAPIA として必須項目とする。

O : JAMA・JAPIA として任意項目とする。

X : JAMA・JAPIA として使用することを推奨しない。

Segment : セグメント・タグ及びセグメント・グループ名

Name : セグメント名

Attribute : 国連で定めた必須 (M) / 任意 (C) と最大桁数

3.4.3 データ値タイプ

下表は、EDIFACT におけるデータ値のタイプを表わす。

数値データタイプにおいて、小数点は明示的に送る。小数点と負記号はデータ長に含めない。また、正記号 (+) はデータの分離記号として使われるため使用しない (符号なし数は正の数とみなす)。

(表 3.4-1)

表現	説明
a	英字
n	数字
an	英数字
a35	35 文字の英字 (固定長)
n35	35 桁の数字 (固定長)
an35	35 文字の英数字 (固定長)
a..35	最大 35 文字の英字
n..35	最大 35 桁の数字
an..35	最大 35 文字の英数字

3.4.4 文字セット

ISO 標準では、EDIFACT メッセージ内で使用できる文字セットとして UNOA-UNOK, UNOX, UNOY を規定している。UN/ECE レベル A(UNOA)では、英大文字、数字および特定の特殊文字の使用を許している。文字セットはサービス・セグメント UNB で指定する。これは、自動車業界の業務要件に適合しており、我々が推奨している英語の利用要件をサポートしている。

3.4.5 日本語 (2バイト文字) 表記

EDIFACT のデータとしての日本語 (2バイト文字) 表記は推奨しない。コードによる記述や、英大文字による英語またはローマ字での記述を推奨する。

日本語表記が必要な場合は、文字セットを UNOX とし、属性が英数字として表現されている場所に 2バイト 1文字として記述する。

半角カタカナの使用は推奨しない。

3.4.6 セグメント内でのデータの分離

下表は国連で定められている分離記号を示している。これらの記号は、UNA (サービス・ストリング・アドバイス) によってユーザーが自由に定義できるが、以下の記号 (デフォルト) の使用を推奨する。

(表 3.4-2)

文字	記号	使用法
アポストロフィ	'	セグメントの終了
正 (プラス) 符号	+	セグメント・タグとデータ・エレメントの分離
コロン	:	構成データ・エレメントの分離
疑問符	?	分離記号を本来の意味として使う場合の識別

3.4.8 PROTAPセグメント詳細記述

Segment: **UNH** Message header M (1/1)
Position: 0010
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To head, identify and specify a message.
Comments: EDIFACT上のメッセージタイプを識別するサービス・セグメント
Examples: UNH+AAAA01+PROTAP:D:07A:UN:GD0000'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	0062		MESSAGE REFERENCE NUMBER メッセージ参照番号	M an..14
M	S009		MESSAGE IDENTIFIER	M
M		0065	Message type identifier PROTAP Project tasks planning message	M an..6
M		0052	Message type version number D Draft version/UN/EDIFACT Directory	M an..3
M		0054	Message type release number 07A Release 2007 A	M an..3
M		0051	Controlling agency UN UN/ECE/TRADE/WP4	M an..2
R		0057	Association assigned code GD0000	C an..6
X	0068		COMMON ACCESS REFERENCE	C an..35
X	S010		STATUS OF THE TRANSFER	C
X		0070	Sequence message transfer number	M n..2
X		0073	First/last sequence message transfer indication	C a1

Segment: **BGM** Beginning of message M (1/1)
Position: 0020
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To indicate the type and function of a message and to transmit the identifying number.
Comments: カレンダー情報であることを特定する。
Examples: BGM+257 +JAMAEIE102-Guide:V1:R1+9'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
R	C002		DOCUMENT/MESSAGE NAME	C
R		1001	Document name code	C an..3
			257 Project Planning Calendar カレンダー	
X		1131	Code list identification code	C an..17
X		3055	Code list responsible agency code	C an..3
X		1000	Document name	C an..35
R	C106		DOCUMENT/MESSAGE IDENTIFICATION	C
R		1004	Document identifier	C an..35
			JAMAEIE102-(本ガイドラインのNo.)+各社メッセージ仕様書名	
O		1056	Version identifier	C an..9
			各社メッセージ仕様書のバージョン番号	
O		1060	Revision identifier	C an..6
			各社メッセージ仕様書のリビジョン番号	
R	1225		MESSAGE FUNCTION CODE	C an..3
			変更情報提供識別	
			9 Original オリジナルを送る	
X	4343		RESPONSE TYPE CODE	C an..3

Segment: **DTM** Date/time/period M (1/99)
Position: 0040
Group:
Level: 1
Usage: Mandatory
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: 発行日、カレンダー対象期日、対象範囲を設定する。
Examples: DTM+157:200105:610'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date or time or period function code qualifier	M an..3
		137	Document/message date/time 発行日/時刻	
		157	Validity start date カレンダー対象期日	
		158	Horizon start date カレンダー対象範囲開始日	
		159	Horizon end date カレンダー対象範囲終了日	
		257	Calculation date 処理日/時刻	
		540	Instruction's original execution date オリジナルデータ作成日/時刻	
R		2380	Date or time or period text 上記に対応する具体的な日付	C an..35
R		2379	Date or time or period format code	C an..3
		6	CCMMYYB 年月前後半	
		7	CCYMMW 年月週	
		102	CCYMMDD 年月日	
		203	CCYMMDDHHMM 年月日時分	
		204	CCYMMDDHHMMSS 年月日時分秒	
		610	CCYMM 年月	
		614	CCYMA 年月旬	
		616	CCYWW 年週	

Segment: **UNS** Section control M (1/1)
Position: 0520
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To separate header, detail, and summary sections of a message.
Comments: メッセージを成立させるために必須のサービス・セグメント。
Examples: UNS+D'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	0081		SECTION IDENTIFICATION	M a1
		D	Header/Detail section separation	

Segment: **Segment Group 14** O (1/99)
Position: 0530
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: 受信確認用件数を設定するセグメント・グループ。
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	RFF	Reference	M 1
X	Segment Group 15		C 999

Segment: **RFF** Reference M (1/1)
Position: 0540
Group: Segment Group 14
Level: 1
Usage: Mandatory
Purpose: To specify a reference.
Comments: 受信確認用件数を設定する。項目の設定方法については、「JAMA・JAPIA 取引情報標準書 別冊 JAMAコードブック」を参照のこと。
Examples: RFF+ZZZ:2:H07:92'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C506		REFERENCE	M
M		1153	Reference code qualifier ZZZ Mutually defined reference number JAMAコードブック定義項目を使用	M an..3
R		1154	Reference identifier 下記に対応する具体的な値	C an..70
R		1156	Document line identifier H07 JAMAコード 受信確認用件数	C an..6
R		1056	Version identifier 92 Assigned by buyer or buyer's agent	C an..9
X		1060	Revision identifier	C an..6

Segment: **Segment Group 16** R (1/9999)
Position: 0590
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: カレンダー情報を設定するためのセグメント・グループ
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	LIN	Line item	M 1
X	STS	Status	C 1
X	BII	Structure identification	C 9
O	RFF	Reference	C 9
X	IMD	Item description	C 9
R	PNA	Party identification	C 9
X	CCI	Characteristic/class id	C 9
O	DTM	Date/time/period	C 99
X	FTX	Free text	C 99
O	Segment Group 17		C 9
O	Segment Group 18		C 99
X	Segment Group 19		C 99
X	Segment Group 20		C 99
O	Segment Group 21		C 9999

Segment: **LIN** Line item M (1/1)
Position: 0600
Group: Segment Group 16
Level: 1
Usage: Mandatory
Purpose: To identify a line item and configuration.
Comments: 明細部の始まりを示すトリガー・セグメント。
Examples: LIN+1'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
R	1082		LINE ITEM IDENTIFIER 連番(1~9999)	C an..6
X	1229		ACTION CODE	C an..3
X	C212		ITEM NUMBER IDENTIFICATION	C
X		7140	Item identifier	C an..35
X		7143	Item type identification code	C an..3
X		1131	Code list identification code	C an..17
X		3055	Code list responsible agency code	C an..3
X	C829		SUB-LINE INFORMATION	C
X		5495	Sub-line indicator code	C an..3
X		1082	Line item identifier	C an..6
X	1222		CONFIGURATION LEVEL NUMBER	C n..2
X	7083		CONFIGURATION OPERATION CODE	C an..3

Segment: **RFF** Reference O (1/9)
Position: 0630
Group: Segment Group 16
Level: 2
Usage: Conditional
Purpose: To specify a reference.
Comments: カレンダー情報に関連する参考情報を設定するセグメント
Examples: RFF+AOJ:0101'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C506		REFERENCE	M
M		1153	Reference code qualifier AOJ Calendar	M an..3
O		1154	Reference identifier カレンダーID	C an..70
X		1156	Document line identifier	C an..6
X		1056	Version identifier	C an..9
X		1060	Revision identifier	C an..6

Segment: **PNA** Party identification R (1/9)
Position: 0650
Group: Segment Group 16
Level: 2
Usage: Conditional
Purpose: To specify information necessary to establish the identity of a party.
Comments: カレンダーの対象となる発注者、納入先(+事業所)の企業情報を設定するセグメント。
Examples: PNA+BY++T1001::92

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	3035		PARTY FUNCTION CODE QUALIFIER	M an..3
			BY Buyer 発注者	
			ST Ship to 納入先	
O	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
M		7402	Object identifier	M an..35
			企業名(+事業所名)	
X		7405	Object identification code qualifier	C an..3
X		4405	Status description code	C an..3
R	C082		PARTY IDENTIFICATION DETAILS	C
M		3039	Party identifier	M an..35
			会社企業コード(+事業所コード)	
X		1131	Code list identification code	C an..17
O		3055	Code list responsible agency code	C an..3
			92 Assigned by buyer or buyer's agent	
			289 JIPDEC/ECPC CII標準企業コード (JAMA・JAPIA推奨)	
X	3403		NAME TYPE CODE	C an..3
X	3397		NAME STATUS CODE	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component type code qualifier	M an..3
X		3398	Name component description	C an..256
X		3401	Name component usage code	C an..3
X		3295	Name original alphabet code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component type code qualifier	M an..3
X		3398	Name component description	C an..256
X		3401	Name component usage code	C an..3
X		3295	Name original alphabet code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component type code qualifier	M an..3
X		3398	Name component description	C an..256
X		3401	Name component usage code	C an..3
X		3295	Name original alphabet code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C

X		3405	Name component type code qualifier	M an..3
X		3398	Name component description	C an..256
X		3401	Name component usage code	C an..3
X		3295	Name original alphabet code	C an..3
X	C816		NAME COMPONENT DETAILS	C
X		3405	Name component type code qualifier	M an..3
X		3398	Name component description	C an..256
X		3401	Name component usage code	C an..3
X		3295	Name original alphabet code	C an..3
X	1229		ACTION CODE	C an..3

Segment: **DTM** Date/time/period O (1/99)
Position: 0670
Group: Segment Group 16
Level: 2
Usage: Conditional
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: カレンダー対象期間を設定する。Pos.0040DTMでの対象期間と同じ場合は省略する。稼働日数を伝送しない場合は、ここでカレンダー情報を設定する。
Examples: DTM+314: 0222220011111003333300222220011:ZZZ'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date or time or period function code qualifier	M an..3
			157 Validity start date カレンダー対象月・日	
			158 Horizon start date カレンダー対象範囲開始日	
			159 Horizon end date カレンダー対象範囲終了日	
			314 Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号	
			490 Selection period, start date 期間の最初の日	
R		2380	Date or time or period text 上記に対応する具体的な日付、日数、記号	C an..35
R		2379	Date or time or period format code	C an..3
			6 CCMYYB 年月前後半	
			7 CCYMMW 年月週	
			102 CCYMMDD 年月日	
			610 CCYMMM 年月	
			614 CCYMMMA 年月旬	
			616 CCYWW 年週	
			ZZZ Mutually defined 31桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定) 02222200111110033333...(31桁)など	

Segment: **Segment Group 17** O (1/9)
Position: 0690
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: 担当者、部門を設定するセグメント・グループ。
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	CTA	Contact information	M 1
X	COM	Communication contact	C 9

Segment: **CTA** Contact information M (1/1)
Position: 0700
Group: Segment Group 17
Level: 2
Usage: Mandatory
Purpose: To identify a person or a department to whom communication should be directed.
Comments: 担当を設定する。
Examples: CTA+SC+A1000'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
R	3139		CONTACT FUNCTION CODE	C an..3
		DL	Delivery contact 手配担当	
		IC	Information contact 情報システム担当	
		SC	Schedule contact 進捗担当	
R	C056		CONTACT DETAILS	C
O		3413	Contact identifier 部署または担当者のコード	C an..17
O		3412	Contact name 部署名または担当者名	C an..256

Segment: **Segment Group 18** O (1/99)
Position: 0720
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: カレンダー情報を設定するセグメント・グループ
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	QTY	Quantity	M 1
O	DTM	Date/time/period	C 99

Segment: **QTY** Quantity M (1/1)
Position: 0730
Group: Segment Group 18
Level: 2
Usage: Mandatory
Purpose: To specify a pertinent quantity.
Comments: 稼働日数を設定する。
Examples: QTY+77:20'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C186		QUANTITY DETAILS	M
M		6063	Quantity type code qualifier	M an..3
		77	Work days	
M		6060	Quantity	M an..35
			稼働日数	
X		6411	Measurement unit code	C an..8

Segment: **DTM** Date/time/period O (1/99)
Position: 0740
Group: Segment Group 18
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: カレンダーを設定する。
Examples: DTM+314: 0222220011111003333300222220011:ZZZ'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date or time or period function code qualifier	M an..3
			314 Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号	
			490 Selection period, start date 期間の最初の日	
R		2380	Date or time or period text	C an..35
			上記に対応する具体的な日付、記号	
R		2379	Date or time or period format code	C an..3
			102 CCYYMMDD 年月日	
			ZZZ Mutually defined 31桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定) 02222200111110033333...(31桁)など	

Segment: **Segment Group 21** O (1/9999)
Position: 0810
Usage: Conditional
Purpose:
Comments: 部署ごとにカレンダーを設定するためのセグメント・グループ
Notes:

Segments and Segment Groups

Usage	Segment	Name	Attributes
M	GIR	Related identification numbers	M 1
X	REL	Relationship	C 1
X	RCS	Requirements and conditions	C 1
X	BII	Structure identification	C 9
O	RFF	Reference	C 9
X	IMD	Item description	C 9
O	DTM	Date/time/period	C 99
X	Segment Group 22		C 99
X	Segment Group 23		C 99
X	Segment Group 24		C 99
X	Segment Group 25		C 99

Segment: **GIR** Related identification numbers M (1/1)
Position: 0820
Group: Segment Group 21
Level: 2
Usage: Mandatory
Purpose: To specify a related set of identification numbers.
Comments: 部署を設定するセグメント
Examples: GIR+13+LIN100'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	7297		SET TYPE CODE QUALIFIER 13 Work schedule	M an..3
M	C206		IDENTIFICATION NUMBER	M
M		7402	Object identifier 部署コードまたは部署名	M an..35
X		7405	Object identification code qualifier	C an..3
X		4405	Status description code	C an..3
O	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
M		7402	Object identifier 部署名	M an..35
X		7405	Object identification code qualifier	C an..3
X		4405	Status description code	C an..3
X	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
X		7402	Object identifier	M an..35
X		7405	Object identification code qualifier	C an..3
X		4405	Status description code	C an..3
X	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
X		7402	Object identifier	M an..35
X		7405	Object identification code qualifier	C an..3
X		4405	Status description code	C an..3
X	C206		IDENTIFICATION NUMBER	C
X		7402	Object identifier	M an..35
X		7405	Object identification code qualifier	C an..3
X		4405	Status description code	C an..3

Segment: **RFF** Reference O (1/9)
Position: 0860
Group: Segment Group 21
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To specify a reference.
Comments: カレンダー情報に関連する参考情報を設定するセグメント
Examples: RFF+AOJ:0101'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C506		REFERENCE	M
M		1153	Reference code qualifier AOJ Calendar	M an..3
O		1154	Reference identifier カレンダーID	C an..70
X		1156	Document line identifier	C an..6
X		1056	Version identifier	C an..9
X		1060	Revision identifier	C an..6

Segment: **DTM** Date/time/period O (1/99)
Position: 0880
Group: Segment Group 21
Level: 3
Usage: Conditional
Purpose: To specify date, and/or time, or period.
Comments: カレンダーを設定する。
Examples: DTM+314: 0222220011111003333300222220011:ZZZ'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	C507		DATE/TIME/PERIOD	M
M		2005	Date or time or period function code qualifier	M an..3
			314 Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号	
			345 Days of operation 稼働日数	
			490 Selection period, start date 期間の最初の日	
R		2380	Date or time or period text	C an..35
			上記に対応する具体的な日付、日数、記号	
R		2379	Date or time or period format code	C an..3
			102 CCYYMMDD 年月日	
			814 Working days 稼働日数	
			ZZZ Mutually defined 31桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定) 02222200111110033333...(31桁)など	

Segment: **UNT** Message trailer M (1/1)
Position: 1020
Group:
Level: 0
Usage: Mandatory
Purpose: To end and check the completeness of a message.
Comments: メッセージ・トレーラー
Examples: UNH+25+AAAA01'

Data Elements

Usage	D-Elm	C-Elm	Name	Attributes
M	0074		NUMBER OF SEGMENTS IN A MESSAGE UNH-UNT間のセグメント数 (UNH, UNTも含む)	M n..10
M	0062		MESSAGE REFERENCE NUMBER UNHでのe0062と同じもの	M an..14

4. 記述例

この例では、発注者 (T1000)、納入先 (T2000) の 2001 年 5 月の稼働日が 31 桁の 0・1 記号で送られる。

(表 4-1)

セグメント	解説
UNH+AAAA01+PROTAP:D:07A:UN:GD0000'	AAAA01-ユニーク番号 07A-リリース番号
BGM+257+JAMAEIE102-Guide:V1:R1+9'	257-カレンダー情報であることを示すコード JAMAEIE102-本ガイドラインの番号 Guide-各社メッセージ仕様書の名称 V1-各社メッセージ仕様書のバージョン番号 R1-各社メッセージ仕様書のリビジョン番号 9-Originalであることを示すコード
DTM+137:200103311345:203'	137-文書発行日時であることを示すコード 200103311345-2001年3月31日13時45分 203-CCYYMMDDHHMM形式を示すコード
DTM+157:200105:610'	157-カレンダー対象月であることを示すコード 200105-2001年5月 610-CCYYMM形式を示すコード
UNS+D'	サービス・セグメント (必須)
RFF+ZZZ:2:H07:92'	2-実際の件数 H07-受信確認用件数を示す JAMA コード 92-各社設定であることを示す
LIN+1'	1-1番目のデータであることを示す
PNA+BY++T1000'	BY-発注者であることを示すコード T1000-発注者コード
QTY+77:22'	稼働日数を示す 77-稼働日数であることを示すコード 22-稼働日が22日間であることを示す。
DTM+314:0011000001100000110000011000001:ZZZ'	稼働日を31桁の1・0で示す(0が稼働日) ZZZ-自由形式を示す。
LIN+2'	2-2番目のデータであることをしめす
PNA+ST++T2000'	ST-納入先であることを示すコード T2000-納入先コード
QTY+77:21'	稼働日数を示す 77-稼働日数であることを示すコード 21-稼働日が21日間であることを示す。
DTM+314:00110000011000001100000110000011:ZZZ'	稼働日を31桁の1・0で示す(0が稼働日) ZZZ-自由形式を示す。
UNT+15+AAAA01'	15-UNH~UNT間(両端含)のセグメント数 AAAA01-ユニーク番号 (UNHと同じ)

5. 交換用サービス・セグメント

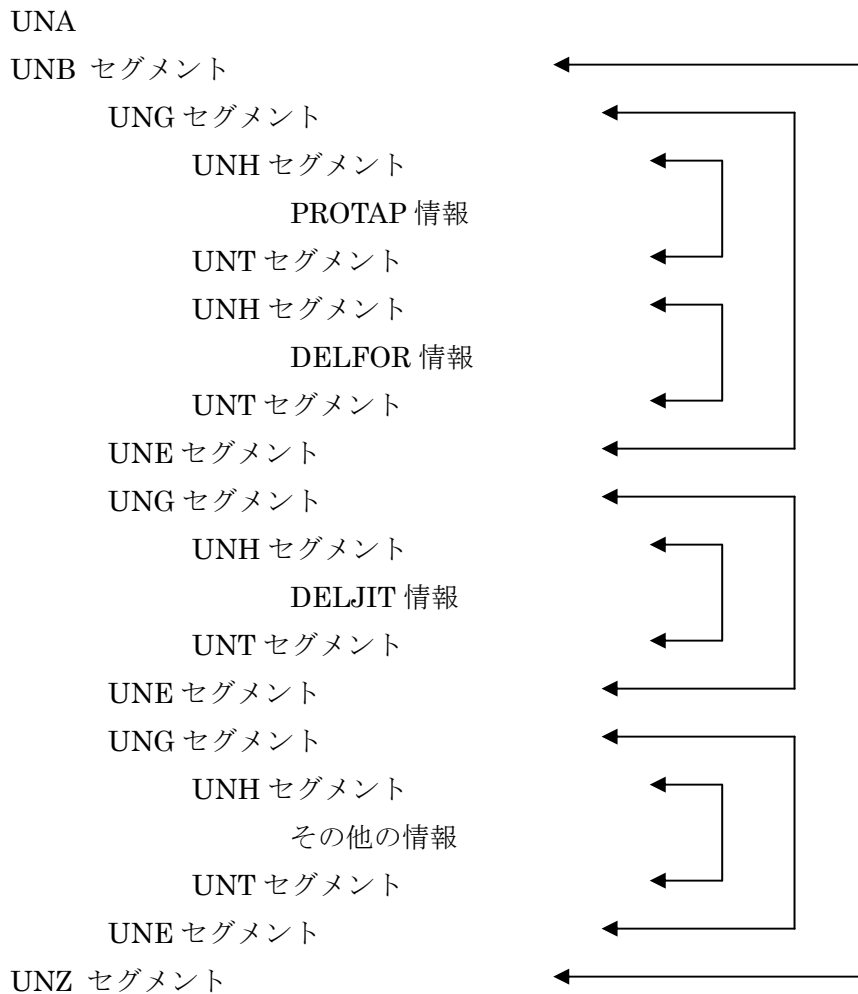
EDIFACT によるメッセージの交換は、いくつかのメッセージ (DELFOR,DELJIT,...) を、メッセージ交換サービス・セグメントで束ねることにより行われる。

サービス・セグメントは UNB-UNZ、UNG-UNE があるが、通常は、UNB-UNZ のみを使ってメッセージ交換が行われる。その包含関係を、図 5-1 に示す。

UNA はメッセージ・コントロール文字を規定するサービス・ストリング・アドバイスであり、デフォルトで決められている文字を変更する場合に、すべてのメッセージに先立って指定する。ただし、JAMA・JAPIA では UNA の使用は推奨しない。

メッセージ交換コントロールの包含関係

(図 5-1)



5.1 サービス・セグメント概要

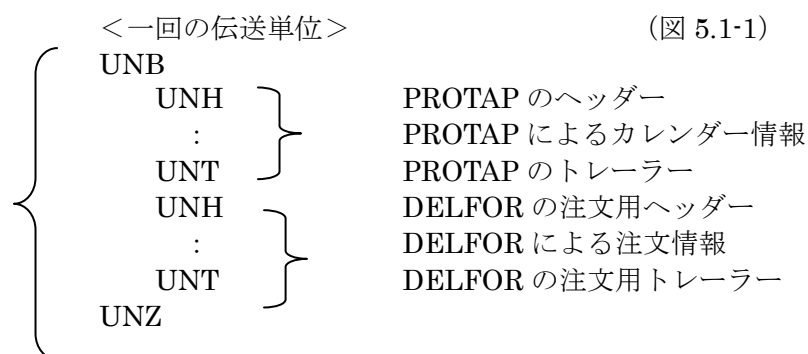
UNB-UNZ :メッセージ交換用セグメント(ヘッダー、トレーラ)

このサービス・セグメントは、郵便の封筒にあたるセグメントであり、メッセージ交換の際には、必ず使用しなければならない。

このセグメントには、ユニークに識別するための番号と、発信元および受信先を示すコードが記述される。

UNG-UNE :機能グループ同封用セグメント(ヘッダー、トレーラ)

同一のメッセージ種を束ねるためのサービス・セグメント。UNG と UNE の間には、複数の同じメッセージ種が入れられる。使用は任意である。



5.2 サービス・ストリング・アドバイス概要

UNA :メッセージ・コントロール文字を規定するサービス・ストリング・アドバイス

セグメント内の区切り等を示す記号を定義する。

デフォルトとして、以下のように決められている。

UNA: + . ? _ '

第 1 文字(:) — コンポーネント・データ・エレメントの区切りを示す。

第 2 文字(+) — データ・エレメントの区切りを示す。

第 3 文字(.) — 小数点を示す。

第 4 文字(?) — UNA で決められた記号を別の意味で使用するときに使う。

第 5 文字(スペース) — 将来に備えての空き場所。

第 6 文字(') — セグメントの終了を示す。

なお、UNA を使用する場合は、6文字すべてを定義しなければならない。

PROTAP V1.02 (JAMAEIE055) からの変化点

No.	変更内容	Pos.	Seg	Element	V1.02 (JAMAEIE055)	V2.01 (JAMAEIE102)	状況	備考
1	D.07Aの採用				—	—		
2	地域コード(JAMA01)の変更	0010	UNH	S009. e0057	JAMA01	GD0000		

EDIFACT標準化検討委員

一般社団法人 日本自動車工業会

メッセージWG委員

鏡原 隆司	標準分科会／メッセージWG	主査(ホンダ)
鈴木 勝治	標準分科会／メッセージWG	委員(いすゞ)
大亀 衛	標準分科会／メッセージWG	委員(川崎重工)
土屋 雅美	標準分科会／メッセージWG	委員(スズキ)
寺本 和史	標準分科会／メッセージWG	委員(ダイハツ)
塩澤 敬和	標準分科会／メッセージWG	委員(トヨタ)
平居 義幸	標準分科会／メッセージWG	委員(日産)
横倉 考俊	標準分科会／メッセージWG	委員(日野)
本間 規之	標準分科会／メッセージWG	委員(スバルシステムサービス)
河田 美智男	標準分科会／メッセージWG	委員(マツダ)
森岡 孝人	標準分科会／メッセージWG	委員(三菱)
中村 晃一	標準分科会／メッセージWG	委員(ヤマハ)
本間 直人	標準分科会／メッセージWG	委員(UDトラックス)

連絡先:一般社団法人 日本自動車工業会 総務統括部 電子情報システム担当

〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目1番30号 日本自動車会館

TEL:03-5405-6130

FAX:03-5405-6136

Copyright:一般社団法人 日本自動車工業会